

来週の「売り物記事」はこれ



2019年10月18日号

毎日新聞東京本社 編集編成局・販促宣伝部

「多様化する皇居ランの世界」

夕刊特集ワイド 21日(月)

残暑も過ぎ、マラソンシーズンがいよいよ始まります。東京都千代田区の皇居の外苑堀(内堀)沿いを走るコースが人気を呼んで久しいのですが、来夏の東京五輪を前に、人はなぜ皇居ランに夢中になるのか、現場で聞いてみました。



ラグビーW杯準々決勝 日本VS南アフリカ 試合結果

運動面など 21日(月)



ラグビー・ワールドカップ(W杯)日本大会で、初の決勝トーナメント進出を決めた日本は20日午後7時15分から、優勝候補の南アフリカとの準々決勝(東京・味の素スタジアム)に臨みます。対戦成績は1勝1敗。主将のリーチ選手やトライを量産する松島、福岡両選手を中心に、前回大会で劇的な勝利を収めた「番狂わせ」の再現を狙います。

論点「天皇制のこれから」

オピニオン面 23日(水)

22日の「即位礼正殿の儀」で、憲政史上初の退位による天皇代替わりの行事は、節目を迎えます。平成から令和への代替わりに伴い、どのような問題が問われ、積み残された課題は何だったのでしょうか。令和時代の皇室はどのような存在になっていくのでしょうか。象徴の意味や天皇に対する社会の意識、皇族のあり方の変化などを3人の識者に伺います。



新連載「原発のたたみ方」

科学面 24日(木)から

老朽化したり、東京電力福島第1原発事故後に運転期間が原則40年に制限されたりして、「廃炉」が決まった原子力施設が増えています。解体し終わるまで数十年もかかりますが、汚染度の高い放射性廃棄物の処分場に関する国のルールは決まっていません。「廃炉時代」に山積する課題を探るシリーズを今月から原則、毎月第4木曜日の科学面で掲載します。

猫の乳がん予防

くらしナビ面 24日(木)

「おうちで早期発見を」。全国の獣医さんが中心になり、猫の乳がん予防を飼い主に促す初めての「キャットリボン運動」が9月から始まりました。人間の乳がん啓発月間(10月)にちなんで、22日を「キャットリボンの日」と定めています。猫も長生きになり、人間のように、がんになることも珍しくありません。家庭でできる乳がんチェックのコツをお伝えします。



認知症とマンション管理の注意点

くらしナビ面 25日(金)

認知症の人の数は2018年に500万人を超え、65歳以上の高齢者の約7人に1人が認知症とみられています。一方、マンションを「ついのすみか」にする人が増えて住民が高齢化する中、建物を共有するマンションでの暮らしで、認知症の人とのトラブルも問題になってきました。専門家に対応策を聞きます。

体を使った遊び伝えるプレイリーダー

くらしナビ面 27日(日)

子どもの体力が、昔に比べて低下した状況が続いています。対策の一つとして、遊びを通して自然に体の使い方を身につけられるようサポートする「プレイリーダー」が、各地で養成されています。放課後や休日、地域の公園などで活動する現場や、プレイリーダーが求められるようになった背景を伝えます。



教師の働き方改革

Sストーリー 27日(日)



を追います。

残業代が支給されないばかりか、放課後は部活動の指導を事実上強制されている現状を変えようと、実名で訴えている現職教員がいます。教育現場は「同調圧力」が強く、声に出して法改正を訴えることは難しいですが「学校の働き方改革」を目指す動きは徐々に広がっています。これまで誰も挑んでこなかった「厚い壁」を越えようと奮闘する教員の姿



※ 都合によっては掲載日や内容を変更することがあります。